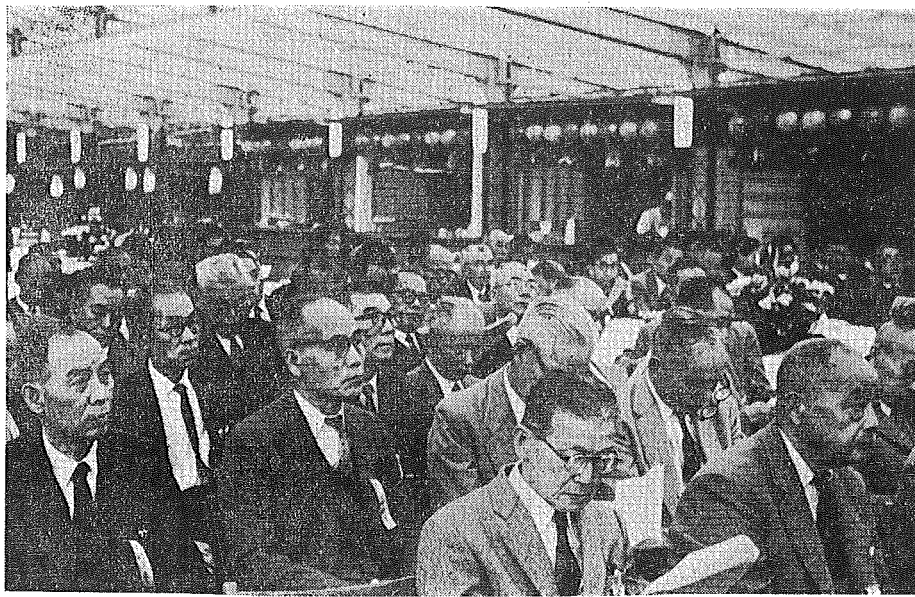


洛友会報

本部総会の一場面

五月十一日 於椿山荘



京都市左京区吉田
京都大学工学部
電気科教室内
洛友会

第七回洛友会総会記録

五月十一日十二時より椿山荘園遊
会場において乙葉幹事司会の下に開
かれた。

先づ鳥養会長が開会の挨拶を述べ
議長席につき議事に入った。山村幹
事より昭和三二年度事業並に収支決
算報告(別項)および昭和三三年度
事業並に予算(別項)の説明があり、
議長これを諮り満場拍手裡に承認
可決した。次いで役員改選は議長
指名による詮議の結果、役員は全部
重任となり、三一、三二、三三年度
卒業の評議員は本部においてその詮
衡を一任すると同委員長長島正隆氏
より報告、議長これを議場に諮り満場
拍手裡にこれを可決した。

次に会則一部変更の件(既報)を
上程審議し、満場の拍手裡に可決し
た。

尚本年はわが電気教室創設六〇周
年に相当するので、これが記念事業
については寄り寄り協議中であるが
洛友会々員各位からも御意見承りた
く、またこれが実行委員をお願いす
ることもありまますから予め御承認を
お願いいたしますとの予告があった。

これをもって全部議了し、時に十
二時三十分であった。

総会出席者

- 鳥養 会長
- 多田 耕象(明37) 宮井 誠吉(40)
- 宝来勇四郎(41) 滝口 三雄(43)
- 佐藤 徳徳(44) 大森 丙(44)
- 佐藤 雅(44) 山下 行雄(45)
- 綿谷 吉松(44) 岩岡 茂樹(45)
- 古田 正康(45)
- 宮崎駒吉(大2)
- 長島 正隆(3)
- 真崎 尚忠(4)
- 久高 将吉(6)
- 大西 冬藏(6)
- 山村 忠行(6)
- 大塚 徳雄(6)
- 松田長三郎(6)
- 〇工藤 寿男(7)
- 〇加藤 信義(7)

楠本宗次郎(7) 乙葉 真一(7)

〇阿部 龍夫(7) 宮崎佐加枝(7)

〇高見 祥平(7) 井上昇夫人(7)

〇堀岡 正家(9) 菅 成吉(8)

小沢 仙吉(9) 菅 久長(9)

西村 弁造(9) 中森 茂雄(9)

島田 実(9) 榎原 吉三(11)

山口 信助(11) 小森 修二(12)

江本伝三郎(12) 松本 弘(12)

〇福島秀次郎(12) 大内 誠三(12)

幸前 治一(12) 高島 正一(13)

〇高田三三郎(13) 三谷 峰吉(13)

〇菊地 保夫(13) 岡本 一郎(14)

〇瀧本 浩(14) 〇一本松珠幾(14)

谷 忠篤(14) 橋本 真吉(14)

樋口竹太郎(14) 〇富永和夫(14)

西原 藤吉(14) 大久保達郎(14)

小宮 義和(15) 飯村 三六(15)

〇奥原 芳普(15)

〇廣瀬 一夫(昭2) 岩本 種昌(2)

〇交川 有(2) 〇坪出 健一(2)

〇白井 好巳(3) 浜崎 諒(3)

〇久野 清(4) 安達 遂(4)

〇真壁 昌一(5) 平田 憲一(5)

天野 寛徳(17) 古川満智雄(17)

小田 敏彦(18) 川合 深(19)

木村 小一(19) 〇老田他四郎(20)

日下部悦二(21) 服部 周三(23)

清水 照久(23) 都木 周作(23)

〇杉山 和夫(26) 門元 啓五(27)

〇室賀 弘(27) 井土 清(27)

〇大西 俊一(27) 渡辺 義明(28)

〇日比 正男(28) 井上 誠一(28)

〇武藤 良介(28) 井垣 嘉生(28)

〇間瀬 光朗(29) 白杉 茂(29)

〇松村 和男(29) 上村 隆俊(29)

〇中尾 英夫(30) 高橋 義造(30)

〇伊吹 公夫(30) 魚住 董(30)

〇三好 良一(30) 天野橋太郎(30)

〇荒木 襄(30) 田場 実(30)

〇葉原 耕平(30) 加納 寿夫(30)

〇龍治 隆(30) 田中 勝嗣(31)

〇飯尾 博一(31) 山本 巖(32)

〇中島 秀臣(32) 平栗 俊男(32)

〇小沢 孝夫(32) 筑後 道夫(32)

新入会員の出席は別記の通り
合計 一九一名

昭和三三年度收支決算

自昭和三二年度四月一日
至昭和三三年三月三十一日

一、収入の部

会費 六〇三、一〇〇

本年度分 五三三、六〇〇

過年度分 八九、五〇〇

預金利息 四、六五三

広告料収入 五〇八、二二〇

雑収入 七、二九〇

繰越金 二四七、〇六九

合計 一、三七〇、三三二

二、支出の部

刊行物費 四五一、三九〇

名簿編集費 一七、九四八

同印刷費 二四二、〇〇〇

同発送費 四九、七七八

同印刷費 九、四四四

同発送費 五〇、九八〇

同印刷費 八一、二四〇

諸品費	二二二、七一四
備品費	五、三四〇
總會費	四、三四四
總會費	四三、〇四五
總會費	四九、〇二五
諸掛費	六〇、〇〇〇
諸掛費	七〇、〇〇〇
諸掛費	七〇、〇〇〇
臨時費	三七、〇一〇
懇話会補助	三七、〇一〇
次年度繰越金	六四九、二二八
合計	一、三七〇、三三二

昭和三三年度收支予算
自昭和三三年四月一日
至昭和三四年三月三十一日

一、収入の部	六二〇、〇〇〇
本年度分	五八〇、〇〇〇
過年度分	四〇、〇〇〇
預金利息	八、〇〇〇
雑収入	八、〇〇〇
繰越金	六四九、二二八
合計	一、二八五、二二八
二、支出の部	四二五、〇〇〇
刊行物費	四二五、〇〇〇
名簿編集費	一五、〇〇〇
同印刷費	二〇、〇〇〇
同送費	五〇、〇〇〇
同印刷費	一〇、〇〇〇
同送費	一〇、〇〇〇
同印刷費	六〇、〇〇〇
同送費	九〇、〇〇〇
諸品費	二七〇、〇〇〇
備品費	一〇、〇〇〇
總會費	一〇、〇〇〇
總會費	七〇、〇〇〇
總會費	七〇、〇〇〇
總會費	五〇、〇〇〇
總會費	六〇、〇〇〇
總會費	七〇、〇〇〇
臨時費	四〇、〇〇〇
懇話会補助	四〇、〇〇〇
予備費	五五〇、二一八
合計	一、二八五、二二八

冬の長いハーバードにもチューリ



ツプの花が咲き初めました。桜の代りにチューリップでは我々日本人にはピンと来ませんがボカボカとした春暖の季節が訪つて来ました。当地に参りまして七ヶ月になります。が、勉強に追いまわられて敬愛する皆様に意外な御無沙汰しておりますので貴重な誌上を拝借して近況を御報告申し上げます。

故国を離れて異境にあるものにして故国からの通信ほど心暖まるものはありません。郵便配達人が小生の郵便物の前を素通りされたと一味の寂寞を感じ得ません。本日洛友会報並に洛友会員名簿を受けとつた時のしみじみとした歓喜は美に筆舌に尽されぬものであることは御想像願えることと存じます。

京都が学園都市であるようにボストンにはハーバード大学、マサチューセッツ工科大学などがあり、学園都市として世界に誇つております。市民の眼は学生に対して極めて暖かく敬愛の情を以て接しています。学生も又市民の厚意に答え、自重自戒しています。京大の学生も中々よく勉

強しているように思っていました。米国でもMIT、ハーバードなどの大学院の学生は、とりわけよく勉強しています。こゝでは学科によると六割位外国より選抜された学生で占められているが、祖国の名譽をかけて必死の勉強を つづけているように思われます。

ある学友が「京大にいた時このように忙しかったか？」と聞くから「さあ、どこの大学だって大差はないよ」とその場を糊塗した返事をしたこともありませう。

Ph・キャンデイトの中にはすごい剛の者が沢山います。一方の手で量子力学を、同時に他方の手で数学のレポートを解くという二刀流もいるそうでは。又隔日睡眠をとりつゝ、頑張るものもいるし、トイレットの中で学術書を読むなどは、日常茶飯事と心得ているようです。しかしこれらの学生に混つて短身の小生も京大の名を辱しめないように頑張つています。皆各自祖国の名譽にかけてという悲壮な色がかがわれま

毎日毎日がこのように戦場の忙しさでスケジュールがつかまつているものです。ですから心にゆとりがありません。クリスマスは招待をスイスから来ていた透き通るような細肌の美しいお嬢さんから受けた小生は、いさゝか鼻を高くしていたのですが、ついで多忙にとりまされクリスマスが来たのを忘却、翌日になってから思い出し、しまったと思つたが後の祭、バスの駅まで迎いに連れてくれたお嬢さんを寒空に立たせて待ち呆けさせてしまった。勿論お嬢さんは柳眉を逆立てて、小生は完膚なきまでに叱責を喰つたのでした。正月の日も勿論研究室に籠城、日本の元旦をあれこれ聯想しながら終日実験にとり組みました。

教授の方々も中々勉強家であり、吾々学生に対して熱心に目親切に指導して下さいませう。謝肉祭の前夜祭には教授の邸宅に招かれて本当に楽しい一夜を過ごしました。

京大の電気教室で虎の子のように大事に取扱つたマイクロ波の発振器や測定器や記録器などが、そこらあたりに無難作に投げ出されているには少々面喰いました。又こゝでは電子回路の部品など大量に学部に入られ、一つの倉庫があつてそこから自分の持ち出した部品の品目と数量を記入しておき、そしてその学期に使用した部品の金高の合計がそれぞれに割当てられた講座費を超過しないようにしてある。これは非常にいい案だと思ひます。我々京大電気教室のように各講座がそれぞれ小売店で買うよりは便利であり格安であると思ひます。

京都大学の図書館が日本一を誇るようにハーバードの図書館は六九〇万冊を備え世界一を誇つています。

最近京都とボストンが姉妹都市になろうという話が進められていると聞きます。街並と言ひ人情と言ひ習慣と言ひ非常に類似点が多く、小生等学生も異国にあるというレヂスタンスが少ないように思ひます。市街は高層建築は少なく、市民の大部分が自宅の所有者だと言ひます。市民の人情も醇厚でカトリック教徒らしい風格を備えています。婦人も保守的に貞淑です。しかしお嬢さん達は京都と同じく着倒れで衣裳を買うことが最上の楽しみ

ハーバードには日本語学のコースがありますが、半年で日本語新聞が読めるまでにつめこみ、一年後には徒然草、更科日記や古文の文法が教えられています。

近頃米国の日本趣味の流行は市民のあらゆる生活に浸透しつゝあるように、ハーバードでも大食堂に桂離宮を模倣した市松模様の裝飾が施されており、京都をしのばせて楽しく思ひます。

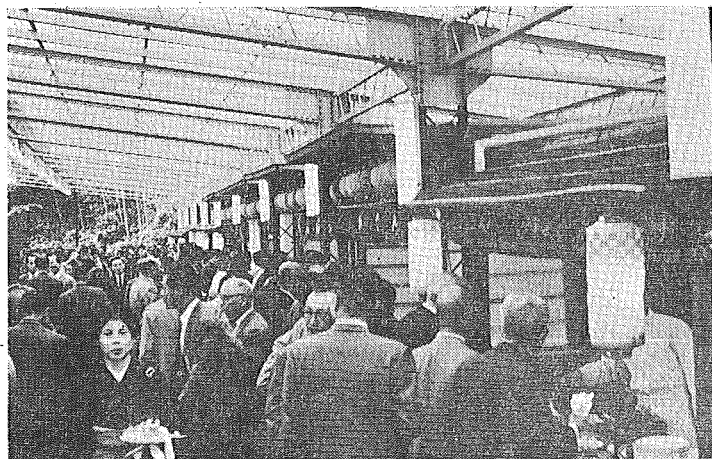
思いつくまゝに極めて無秩序に書き恐縮に存じます。遙かハーバードにて皆様の御健斗を祈りつゝ、筆を擱きます。

(筆者は昭三〇卒、Perkins 61, Harvard, Cambridge 38, Mass, U. S. A.)



総会懇親会 (1)

総会懇親会(2)



○されば、各々、向き向きに、店の前に出張り、頬張りながら会談、懇談、快談、怪談が、繰り広げられていた。

○余興が始まる。西崎流の舞踊と青木東正氏の奇術があった。最後に多田耕象氏の音頭で洛友会万歳を三唱した。

○奥さんがお嬢さんを連れて来ておられるのには、若い会員の視線が走り易かった。

○恩師に対する挨拶の、うるはしさや、親しみある師の言葉、その態度など、我が洛友会ならではの感があった。

○学窓を出て、始めて会ったという会員たちの、その喜びと嬉しさの様子が涙組織しい程であった。

本部総会懇親会

○総会がすむと、そのまゝの場所懇親会が開かれた。ピーヤパイチに園遊会をつきませた様式。家族同伴なので、これまでの懇親会とはガラリと異った気分である。

○会場は名にし負う椿山荘。東京の名所になっているらしい。明治の元勳山県有朋公が起居された二万坪の邸宅の跡である。起伏の多いのを巧に造園されたもので、庭園散策は格別である。

○然し残念ながら小雨で、この方は駄目だった。随ってグリーンハウスの会場は大賑いであった。○模擬店は、てんぷら、すし、おでん、焼鳥、振り分団子とあった。

○思うなら、今から京都大学の電気教室か、電子工学教室を卒業して来なさい。その妻は、ジュースを飲んで赤い舌をペロリ。

○とにかく各支部の会合には、家族同伴を励行して貰いたい。一層の親睦と、同窓会の意義を深からしめるものとなるであろう。

○第七回本部総会は、エポックメーカーキングであった。(K生)

○本年度の総会並に懇親会は本部と合同にて催すこととなり、五月十一日椿山荘にて本部総会に先立って午前十一時半より懇親会を開催した。

○先づ管支部長の開会の挨拶について久野副会長より昭和三二年度の事業並に決算報告および昭和三三年事業予算の説明があり、満場拍手裡に可決した。

○ついで左記本年度卒業の新入会員の紹介があつて正午懇親会を終了した(○印出席)

- 井上 誠一 国際電信電話
- 埼玉県北足立郡野町大戸五七五 桜井新平方
- 小倉 久直 富士通信機
- 川崎市小杉二八八ノ一 青葉寮
- 鎌山圭一郎 日本電気
- 横浜市港北区日吉本町一八五六戸上方
- 南 宗宏 東京芝浦電気
- 川崎市東古市場一三三青雲寮
- 村田 久夫 東京芝浦電気
- 村田 久雄 富士電機製造
- 横浜市鶴見区鶴見町二見台六二ノ三
- 安原 碩人 日本国有鉄道
- 東京都北多摩郡国分寺町 中央
- 鉄道教習所
- 大西 和夫 日立製作所
- 茨城県日立市成沢町 日専寮
- 奥村 正也 東京芝浦電気
- 川崎市東古市場一三三 青雲寮
- 岸本 達郎 日本国有鉄道
- 東京都北多摩郡国分寺町

洛友会東京支部総会

- 中央鉄道教習所
- 小西 達夫 日本電気
- 東京都目黒区中目黒三ノ一二〇
- 貞桂寮
- 瑞光 和之 日本鋼管
- 西村 武 日立製作所
- 茨城県日立市成沢町 日専寮
- 日向 成行 日立製作所
- 日立製作所
- 広 豊 日立製作所
- 茨城県日立市成沢町 日専寮
- 山本 博祥 富士電機製造
- 横浜市鶴見区鶴見町二見台六二ノ三
- 加藤 隆二 日本電気
- 東京都目黒区中目黒三ノ一二〇
- 貞桂寮
- 小泉 洋二 日本電々公社
- 東京都新宿区東大久保二ノ二六
- 杉岡 良一 富士通信機製造
- 高見 宏彦 東京芝浦電気
- 川崎市東古市場一三三 青雲寮
- 田中 茂巳 日本電気
- 東京都目黒区中目黒三ノ一二〇
- 貞桂寮
- 橋本 道哉 日本国有鉄道
- 東京都北多摩郡国分寺町 中央鉄道教習所
- 林 良一 沖電気工業
- 東京都品川区西大崎四ノ七四二
- 明工寮
- 福島 邦彦 日本放送協会
- 東京都世田谷区砧町二〇六
- 清明寮

東京支部主催

洛友会ゴルフ会

会報に予告した通り、総会の翌十二日午前十時から相模カントリー倶楽部で開催しました。

この日は、初め前日からの雨が残るが、後には雨も止み晴間が見えるという予報であったので、それを楽しみにして順次スタートしたが、期待が外れて、午後降りの少時小止みに終わった外、終日降り続き、気温も甚しくさがったため参加者一同苦戦

卒年	25	9	12	14	15	15	15
Out	49	47	56	59	65	54	53
In	47	47	55	59	65	52	52
Net	121	121	135.5	130	131	136	138.5
Ord	1	2	6	4	5	7	9
Gr	145	139	164	160	176	163	167
Hdp	19	17	12	20	26	18	19
氏名	宮崎伊松	本方本	永本	川原	石堂	本木	相

神保町
西本舟造
中を三六ホールを廻った勇士もありました。

